

別記  
第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

( 宛 先 ) 京 都 府 知 事		2020 年 7 月 8 日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 東京都千代田区丸の内一丁目8番3号		氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） カルビー株式会社 代表 取締役社長 伊藤 秀二 電話 03 - 5220 - 6222
環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	カルビーグループ環境マネジメント (独自のシステム)	
適 用 範 囲	カルビーグループ会社の事業場(本社、工場、営業所、事務所を含み、以下「事業場」という。)	
導 入 年 月 日	2010年 4 月 1 日	
認 証 番 号		
基 本 方 針	環境活動方針と4本柱 持続可能な未来を実現すべく、企業の継続的存続と社会的責任遂行のために4本柱で活動する ①環境マネジメント ②省エネ・省資源 ③コミュニケーション ④資源循環	
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	<p>全社目標</p> <p>①CO2排出量：2009年度を基準年度として、原単位(売上高ベース)で、2020年度に11%(年率1%)削減する。</p> <p>②使用水量：2009年度を基準年度として、原単位(売上高ベース)で、2020年度に30%削減する。</p> <p>③廃棄物量：2009年度を基準年度として、原単位(売上高ベース)で、2020年度に30%削減する。</p> <p>ただし、当工場においては、原単位の毎年1%削減</p>	
目標を達成するための取組の内容	<p>①省エネルギー(CO2)：エネルギーフローの見える化、ヒートポンプの導入、ポンプの制御変更、高効率照明への更新、生産設備の運転時間見直し、コンプレッサのエア流量の測定</p> <p>②廃棄物排出量の削減：不良製品の削減</p>	
目標を達成するための取組の進捗状況	<p>①省エネルギー(CO2)：エネルギーフローの作成、ヒートポンプの導入、生産工場の集約、製品構成の変更や作り方の改善、バイオマスボイラーの高効率運転による再生エネルギー量のアップなど。その他、輸送時のCO2排出抑制の為に配送ルートの見直し、エコドライブによる燃費改善、共同配送の拡大、長距離輸送のモーダルシフトに取り組んでいる。</p>	
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	<p>経年劣化した空調機や照明のLED更新を進めていき、JR包装ラインで分割していた2つのケサラインを1つにまとめることで、コンプレッサのエア流量を2割削減し、電力消費を抑えました。</p> <p>また2018年度8月から新生産ラインが稼働し、エネルギー使用量は増加したが、エネルギー効率の良い生産ラインのため、大幅に原単位の改善され、2019年では新ラインの生産増により、昨年より大幅に改善された。</p>	
事業活動に係る法令の遵守の状況	<p>関連法規の遵守状況について1年に1回確認を行っている。</p> <p>当工場においては、これまで違反及び行政当局からの指摘はなかった。</p>	
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	<p>昨年度より引き続き、「全社エネルギー管理委員会」、「全社廃棄物管理委員会」などテーマ別の担当者会議を定期的で開催し、PDCAサイクルに沿って活動するための仕組みづくりを進めていく。</p> <p>評価・見直しの必要性については、原則として1年に1回、検討している。</p> <p>全社的には前年度は目標を達成できたので今年度も同システムを継続して運用する。</p>	

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。